怖い糖尿病が増えています
「知る集い」、11日開催

怖い合併症を引き起こし、死に至らしめることもある糖尿病が、グルメ時代を反映し増えています。あなたは大丈夫ですか？

新潟糖友会（事務局・木戸病院健康管理部）では、「糖尿病を知る集い」を今年も十一月十一日に開催し、予防や病気の克服について市民のみなさんに訴えます。

親から受け継いだ糖尿病になりやすい体質に、食べ過ぎや運動不足、ストレス、疲労など糖尿病を悪くさせるものが加わると糖尿病に…。そして、さらに悪化すると怖い合併症を引き起こします。

現在病気でない方、家族の健康を預かる主婦の方も、ぜひ「集い」にご参加下さい。

※**糖尿病を知る集い**

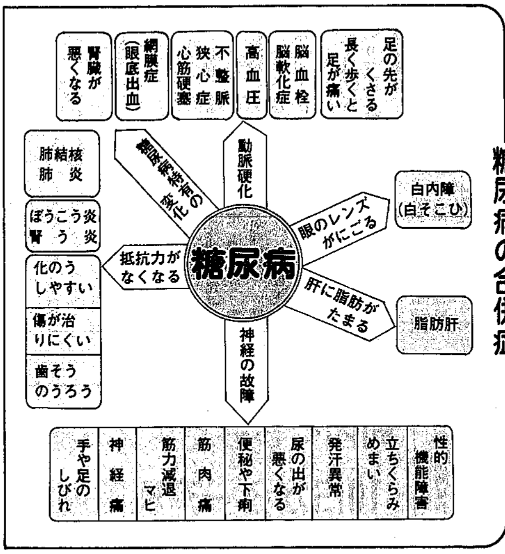
日時 十一月十一日午後一時～四時半

会場 県民会館小ホール

内容 ①講演「糖尿病を学ぶ」佐藤幸示・がんセンター新潟病院内科部長②シンポジウム「糖尿病と上手につきあうには」③映画「糖尿病・正しい理解」④療養相談⑤血糖検査⑥食品展示

ヤング分科会 午後三時～五時。子どもや青年期に発病した人と、その親の集い。就職や進学など、人生の節目を乗り越えるため、一緒に考えます。テーマは「私は糖尿病です。と言えますか!?」。終了後、五時半から鍋料理を囲んでの懇親会も行います。

問い合わせ 新潟糖友会（☎274―7139）へ



市民登場

厚生大臣表彰を受けた点訳ボランティアグループ
目陽会（もくようかい）

十月二十二日から二十四日に開かれた「市民福祉まつり」。市社会福祉センターのお祭り広場で、元気にたこやきを焼く主婦たちの模擬店が見られた。点訳ボランティアグループ「目陽会」である。昭和五十一年に発足以来、目の不自由な人たちのためにバス路線図、電話帳、応急手当の知識などを点字で作成する地味な仕事を続けてきた。

点字盤に六つの点でカナを表し、一字一字打っていくという根気のいる仕事だけに、実績と活動年数を見てもその努力ぶりがうかがえる。今年は春から表彰が続いた。五月には「エイボン賞」、六月にはボランティア功労団体として厚生大臣表彰を受けた。九月の市制一〇〇周年記念式典では市長の感謝状も受けている。

会長の佐藤エイ子さん（万代五）にお話を伺った。

――市民福祉まつりはいかがでしたか？

佐藤 市長さんからたこやきのタコを寄付していただいたりして、楽しくできました。

――六月に厚生大臣表彰を受けられたそうですね。

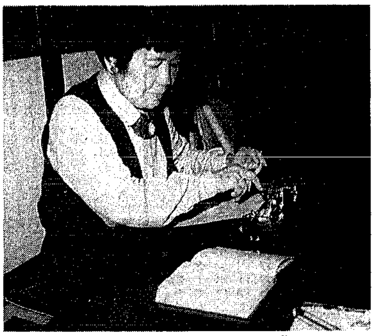
佐藤 第一回の全国ボランティア大会の席上でいただきました。

――五月の「エイボン賞」というのは？

佐藤 ボランティア精神に基づく女性グループに助成いただけるもので、さっそく点字タイプを五基購入しました。

――点字ボランティアを始められたきっかけは？

佐藤 子どもが小学三年生になって手がかからなくなったころ、「四十歳になったら心動かされるものに時間を使うべきだ」と何かの本で読んだのです。そして昭和四十七年の市のボランティア講座で点字に出合いました。その時は十人いたのに一～二年で二人になってしまって。それからは年一回初心者講習会を開いて仲間を増やしていきました。


点字タイプで単行本を点訳する佐藤さん

――根気が必要ですね。

佐藤 今まで講座などで五百人近い人が点字に出合っているのですが、今、会は五十人前後で続いています。個人で単行本などを点訳して点字図書館に収めるのに加えて、グループで電話帳や市街地案内図など、毎年一作ずつ作ってきました。それもよく利用しそうな、また役に立ちそうな電話番号を選んだり、街並みとバス停の位置を確かめたりすることから始めました。メンバーの結束も強くなりましたよ。

――今まで続けてこられたのはなぜでしょう？

佐藤 本が好きだということ。でも一字一字打っているとあまり頭に入りませんね。やはりだれかの役に立つんだということと、いい仲間に恵まれてここまで来ているのでしょうね。

――今年はどんなことを？

佐藤 最近よく耳にする外来語や略称などカタカナの用語解説に取り組みました。掲載する言葉を自分たちでさがすところから始めたんですよ。世の中に本はあふれていますが、点字の本は大変少ないです。単行本一冊は点訳すると四～五巻ぐらいになります。家庭でできるボランティアですし、一冊でも多くの本や生きた情報を点訳することが求められていると思いますね。

健康ミニメモ
爪（つめ）の顔

健康のバロメーターである顔は人により千差万別。爪も形、色、硬さなど、人によってみな違っている。

だが爪は皮膚（ひふ）の一部であるから、爪も内臓の鏡といってもよいと思う。だが身体の疾病なり、異常なりが爪に必ず表れるかというと、そうとは限らず、その推測なり予測の域を出ないものもある。一般的な爪の病気を見てみると、まず最初に挙げるのは爪白癬（つめはくせん）。これは爪甲の肥厚、もろさ、白色の混濁とが目立ち、肝硬変の変化とは判別出来る。そのほか、爪甲に横溝、縦溝の出来てくる場合、爪下に出血の来る場合、爪甲に点状の凹窩（おうか）の生じる場合、また「スプーン」様の爪や爪甲の剥離（はくり）して来る場合など、身体の異常と、まま併行する（時には局所的の刺激により、生じるものもあるが）。

こんな場合は必ず専門医に相談して善処するようにしたいものである。

（市医師会）

市立看護専門学校
平成2年度の学生を募集

市立看護専門学校（紫竹山二―一市民病院構内）では平成二年度の看護学生を募集します。

受験資格は高等学校卒業者または来年三月三十一日までに卒業見込みの人で、募集人員は三十人。願書受付期間は一月九日から一月二十九日。試験は二月六日、七日の二日間、同校で行います。

入学後、三年間の修業年限を終えると、正看護婦（士）の国家試験受験資格が与えられるほか、保健婦や助産婦、養護教諭などの学校に入学する受験資格も得られます。

来年度の授業料は年額四万八千円ですが、月額一万円の新潟市奨学金のほか各種奨学金制度が利用できます。

募集要項は返信用封筒（七十二円切手をはる）を同封し、同校（〒950紫竹山二―六―一、☎241―5640）へ。

11月9日は「119番の日」
消防指令室を公開

十一月九日はそのダイヤルナンバーにちなんで「一一九番の日」です。市消防局では火災・救急通報の適切なかけ方をもっとよく、広く知ってもらうため、次の記念行事を開催します。ご家族でご参加下さい。

「119番の日」記念行事

日時 十一月九日午前十時～午後三時

①**通信指令室の一般公開**…消防車や救急車に指令を与える消防局の指令室を公開

②**はしご車試乗体験**…消防局前で、はしご車に試乗。消防活動の一端を体験してもらいます。

③**街頭広報**…古町モール6で記念品を配布します。

問い合わせ 消防局通信指令室（西大畑町、☎223―3191）へ

中地区少年の主張大会
日時 11月19日午後1時半～4時
会場 中地区公民館
内容 中地区の小・中学校から2人ずつ意見発表
問い合わせ 会場（☎271―0017）へ

障子・ふすま張り替え講習会
日時 11月14日午後1時～4時
会場 北地区公民館
対象 成人先着40人
参加費 300円
申し込み 電話で会場（☎259―7330）へ

まんが本交換・即売市
日時 11月11日午後2時～3時半
会場 石山地区公民館
申し込み・問い合わせ 会場（☎286―5631）へ

生活の知恵講座
日時 11月21日～来年1月30日までの毎週火曜日午前10時～正午
会場 坂井輪地区公民館
内容 冬の漬物、漢方薬の知識と用法ほか
定員 先着35人
参加費 2,800円（材料費）
申し込み 電話で会場（☎269―2043）へ

婦人初心者卓球・バドミントン教室
日時 11月15日～来年2月23日、毎週水・金曜日午前10時～正午
会場 西総合スポーツセンター
対象 成人の女性、先着各40人
経費 バドミントン3,000円、卓球2,000円。使用料1回につき100円
申し込み あす6日午前9時から会場（268―6400）へ

文学講座
「奥の細道」講読
日時 11月18日～12月16日までの毎週土曜日午後1時半～3時半
会場 西地区公民館
対象 成人30人
申し込み 電話で会場（☎261―0031）へ

坂井輪・西地区合同親善卓球大会
日時 11月19日午前9時～
会場 西総合スポーツセンター
種別 シングルス・男女別A・B・C
参加資格 坂井輪・西地区内の中学校区在住・在勤の社会人
参加費 1人300円（当日納入）
申し込み 11月14日（必着）までにはがきに、住所、氏名、電話番号、男女・クラス別を記入し前田ひさ子（〒950―21平島653 ☎267―5891）へ

曽野木地区公民館催し物
☒**文化講演会「北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）見たまま」**
日時 11月7日午後1時半～4時
講師 渡部重雄・ポトナム会会長
※直接会場へどうぞ
☒**初心者英会話教室**
日時 11月17日～12月22日までの毎週金曜日午後7時～9時
対象 成人20人（中・高年歓迎）
参加費 300円
申し込み 電話で会場（☎280―6810）へ
☒**青年のための海外旅行マニュアル講座**
日時 11月22・29日、12月6日午後7時20分～9時
対象 青年先着20人（18～40歳程度）
申し込み 電話で会場（☎280―6810）へ